



令和6年7月1日 現在

総世帯数	8,224世帯
総人口	17,216人
男	8,631人
女	8,585人

芳川地区
地域づくりセンター
☎58-2034

芳川出張所
☎58-2034

芳川公民館
☎58-2034

芳川福祉ひろば
☎57-0168

※芳川地区地域づくりセンター、
芳川出張所、芳川公民館への
連絡は同じ番号となります。

芳川みなみ福祉ひろば
☎86-1055

平成23年(2011年)6月30日午前8時16分に発生した長野県中部地震(松本地震、マグニチュード5.4、震度5強を記録。死者1人、負傷者17人)の発生から13年が経過しました。

地震の経験と教訓を忘れないため、また、今年の1月1日に能登半島地震が起こり、日本各地どこで地震が起きてもおかしくない状況であることから、日頃から防災意識を持ち、有事に備えるため、6月30日(日)に芳川小学校体育館にて避難所開設・運営訓練を実施しました。

芳川小学校体育館 避難所開設・運営訓練



▲段ボールベッドの組み立てと使用体験



▲簡易トイレの組み立て確認

各地区の関係団体から総勢83人の参加があり、防災倉庫の備蓄品の確認及び段ボールベッドの組み立て・解体、寝袋体験、簡易トイレの組み立てなどを行いました。

今後は、今回の訓練で出た課題や問題点などを踏まえ、避難所運営委員会で話し合いながら芳川地区の運営マニュアルの見直しを行います。



▲防災倉庫の備蓄品の確認

芳川キャラクターシカセギン



令和6年度芳川地区体育大会 (よしかわスポーツひろば)

7月7日(日)、芳川地区体育大会(よしかわスポーツひろば)が開催されました。

七夕開催となった今年は、バレーボール・ソフトボール・硬式テニス・卓球・ゲートボール・マレットゴルフ・ニュースポーツに約150人が参加しました。

前日に雨が降ったものの、グラウンド等の状態も問題なく、屋外競技も含めて全ての競技を行うことができました。当日はとても天気が良く、日差しの照り付ける暑い中での競技となりましたが、体調不良になつてしまう方も出ず楽しく無事に終わることができました。

来年もより多くの皆さまの参加をお待ちしております！



訂正

5月号に掲載の令和6年度芳川町会連合会の記事について誤りがございました。お詫びして訂正いたします。

誤…会計には名和伸一さん(北原町・再任)
正…会計には野村一男さん(平田・新任)



6月8日(土)に緑化推進協議会の総会と、植栽作業が行われました。

各町会の担当者や地域づくりセンター職員計7人で芳川体育館の花壇にマリゴ、ルドやニチニチソウなど4種類の草花を植えました。

公民館にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

緑化推進協議会による
体育館花壇への植栽



福祉ひろばによる
出張ふれあい健康教室

7月3日(水)、北原町公民館で「福祉ひろば出張ふれあい健康教室」の一環として、「南京玉すだれ」「サックスの演奏」があり、約20人の方々が参加し楽しい時間を過ごしました。



芸能ボランティアの山村保さんによる
サックス演奏と南京玉すだれ

「南京玉すだれ」が、南京から出た物ではない事など、話題も興味を引く内容に大満足な1時間半でした。

その後、「100歳体操」「ワンポイント健康情報・夏場の健康管理と、フレイル防止対策等」で、幕を閉じました。

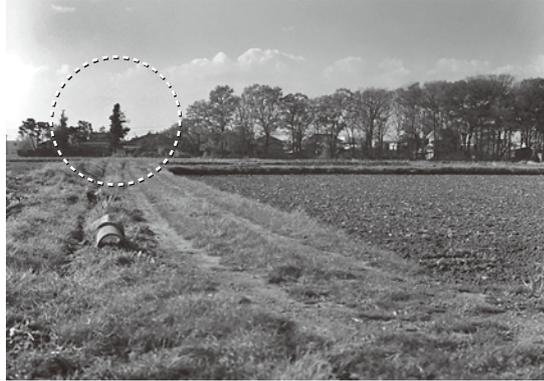
芳川の今昔物語

村田正幸

第44話

〜笹賀(向原)の平地林〜

その昔……松本流通業務団地が笹賀に移転する以前は、上二子の川向の集落に平地林が多くあった。農地もほ場整備される前、農道が走っている。



撮影:1980年代



撮影:令和6年7月4日

現在は……ほ場整備された農地と、住宅の奥には流通団地が営業している。一本の大きな杉の木が当時の姿を唯一残しているが、平地林はごく僅かに残っているだけである。

木工町ソフトバレー大会



6月16日(日)、芳川体育館で木工町の自治組対抗ソフトバレー大会が開催されました。親睦を深めようと選手、応援者を含めて約60人が参加しました。

6チームによる予選を勝ち抜いた第一自治組と第六・第七自治組混成チームによる決勝戦は手に汗握る試合となりました。優勝と準優勝の2チームには豪華メロンが進呈されました。

たちばなし

先日、急用で新潟市へ行く用事ができたので、平田駅から電車を乗り継いで目的地に向かうことになりました。

まず駅窓口にて、ICカード(Suica)利用で新潟に行けるかどうかを訊ねたところ、「出来ない」との回答。理由は、松本は首都圏エリア、新潟は新潟エリアの管轄であるため、エリアをまたぐ乗車はICカードでは対応できないそうです。

ということで窓口で切符を発売してもらい出発、そして数時間後には無事目的地に着。「信越」とひとくくりにするのが多い信州と越後(新潟)。隣県同士ですが、松本からするとはたして近いのか遠いのか……

そして、松本も新潟も同じくJR東日本管内なのに、ICカードで行けないとは予想外だったなあと感じた瞬間です。また、信州はJRが三社も乗り入れている県だっけ、と気付かされたときでもありました。

将来はICカード一枚で日本全国を往来できるようになるといいなあと思います。